22 地域福祉

現状

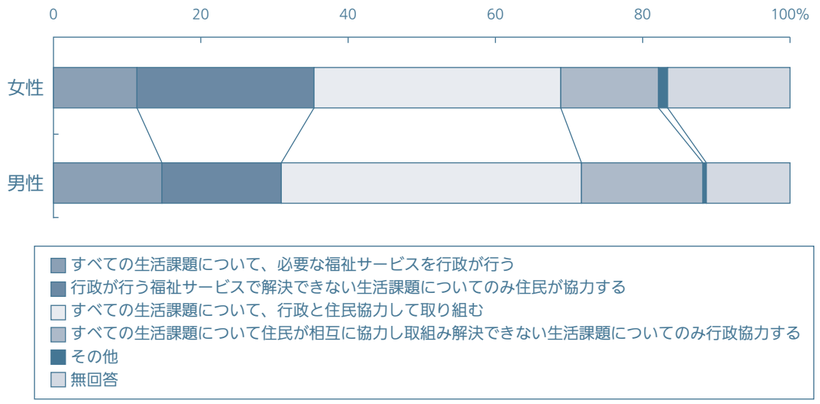
●人口の減少と少子高齢化が進む今日、子どもから高齢者、障がいの有無に関わらず、誰もが住み慣れた当町で安心して暮らし続けることのできる生活環境づくりが求められています。地域社会における福祉の問題に対し、地域住民や福祉関係者が相互に協力し取り組んでいこうという「地域福祉」の取り組みが全国的な課題となっています。このようななか、当町では「地域福祉計画」を策定し、地域福祉に関する取り組みを進めています。

課題

■社会福祉協議会と強いむすびつきがこれからの地域福祉を推進していく上で大変重要なことから「地域福祉計画」については、「地域福祉実践計画」と一体的につくる必要があります。

■地域福祉に対する住民ニーズは多様化・複雑化しており、福祉活動も、保健・医療・介護などの多岐に渡っています。これらの関係機関や団体、地域住民が密接に連携協力を図ることが必要です。

地域福祉を充実させていく上で行政と住民の関係はどのようなものが望ましいか
（性別）



（地域福祉と防災等に関する意識調査より）

■要援護者が安心して地域での生活が送れるよう要援護者に係る情報の把握・共有及び支援の推進方策が求められています。こうした取り組みが災害時などの緊急事態の際の迅速かつ的確な要援護者支援にもつながるため、地域住民の協力を得ながら要援護者を見守り支援する体制を整えておくことが必要です。

■きめ細かな福祉サービスの提供には、行政や社会福祉協議会だけでなく、地域住民、事業者、ＮＰＯ法人、ボランティアなどが相互に協力してサービスの提供に取り組む必要があります。

■悪質商法や詐欺的な手口（悪徳訪問販売など）から消費者、とくに高齢者や若年者を守っていくために、地域社会で見守りや、声をかけあうなど地域全体でフォローするしくみが求められています。

■「地域福祉と防災等に関する意識調査」及び「江差町高齢者実態調査」による諸課題を検討し、行政、社会福祉協議会、事業者、地域住民など、それぞれの適切な役割分担のもと、横断的に対応していくことが必要です。

課題解決に向けた基本方針

・介護や子育てを孤立させない環境づくりを進めます。
・一人ひとりの思いやりが、見守りや支え合いの活動につながるまちづくりを進めます。
・小地域ネットワークを通じて、地域で高齢者や障がい者、子どもを見守り支える地域福祉の支援体制を充実させます。

具体的な施策

地域福祉の意識づくり	・地域福祉の重要性に関する普及・啓発活動の推進 ・世代をつなぐ交流機会づくり、交流会への参加 ・子どもたちにボランティア意識を醸成する地域での取り組み
地域福祉の推進体制の充実	・社会福祉協議会との連携強化 ・町内会や自治会、民生委員児童委員連絡協議会などとの連携
地域福祉活動の推進	・地域住民の参加による多様な福祉活動の促進（地域で高齢者や障がい者、子どもを見守り支える地域福祉活動など） ・住民の自主的なボランティア組織づくり